

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年		4年	
教科等名		国語・算数(朝の学習)		グループ名		2組	
ねらい		・日常生活に必要な手指の操作性を高め、語彙を増やし、文字、数や数量、形などの基礎を理解し、身に付けることができる。 ・指示に応じたり、要求、依頼、報告などを相手に伝えたりすることができる。 ・一定時間集中して、自分の課題に積極的に取り組むことができる。					
担当教員		木村 涼香					
予定授業時数		105/256					
使用教科書		東京書籍 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)		指導の工夫	
4 5 6 7	よく見て手や指を使おう いろいろな言葉や文字、数を知ろう 自分から伝えよう 本を読もう	○	・手指の操作に関わる活動「紐通し」「色塗り」など ・認知に関わる活動「弁別」「マッチング」など ・概念に関わる学習「大小」「多少」「時間」など ・言葉につながる課題「物の名称」「要求・依頼・報告」 ・文字につながる課題「運筆、視写」「書字」(平仮名・片仮名・名前の漢字)など ・数につながる課題「一対一対応」「数の合成」「足し算・引き算」など ・図書室で本を読む	・指先を使い物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・具体物を使い、大きさや量を比べることができる。形を見分けることができる。 ・カードなどを用いたり、言葉を使ったりして、教員に要求や依頼、終了を伝えることができる。 ・筆記具の持ち方を知り、目と手を協応させて、線や文字を書くことができる。 ・具体物を対応させて置くことができる。 ・具体物を使い、数の合成をすることができる。 ・図書室で静かに本を読むことができる。		・児童の興味・関心に応じた教材・教具を活用するようにする。	
9 10 11 12	よく見て手や指を使おう 使える言葉や文字、数を増やそう よく聞いて答えよう 本を借りよう	○	・手指の操作に関わる活動「ピンセット」「はし・スプーン」「シール貼り」など ・認知に関わる活動「分類」「型はめ」など ・概念に関わる課題「重軽」「時間」など ・言葉につながる課題「やり取り」(動詞・助詞を使って)など「運筆、視写」「書字」(平仮名・片仮名・身近な漢字) ・数につながる課題「一対一対応」「順序」「数の合成・分解」「足し算・引き算」など ・図書室で本を借りる	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の形や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。 ・目と手を協応させて線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物を使い、順序や数の合成・分解ができる。 ・図書室で本の借り方を知る。		・フィニッシュボックスなどを活用し、児童が一人で取り組める環境を整える。 ・児童が主体的に、一人でやりきる力を育てられるように、やり方や手順などについて視覚化する。 ・筆記用具は、太さや長さ、濃さに配慮する。 ・楽しく落ち着いた雰囲気できやり取りできるようにする。 ・タブレット端末を活用し、個々に合った課題を用意する。 ・本を読むときのマナーを伝えていく。	
1 2 3	考えて手や指を使おう 言葉や数、文字をたくさん使ってみよう よく考えて答えよう、伝えよう できることを増やそう 本を紹介しよう	○	・手指の操作に関わる活動「ねじ回し」「ボタン」「紐結び」など ・認知に関わる活動「分類」「パズル」など ・概念に関わる課題「高低・長短」「時間」など ・言葉につながる課題「助詞の使い方」など ・文字につながる課題「運筆、視写」「書字」(平仮名・片仮名・漢字)など ・数につながる課題「一対一対応」「足し算・引き算」など ・図書室の本を推薦する	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の名前や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で指示に応じたり、友達に伝えたりすることができる。 ・具体物を使い、物の測り方を知ることができる。 ・目と手を協応させ、線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物の操作と数式を対応させることができる。 ・図書室でお気に入りの本を選び、友達に紹介することができる。			

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年	4年
教科等名		国語・算数(朝の学習)		グループ名	3組
ねらい		・日常生活に必要な手指の操作性を高め、語彙を増やし、文字、数や数量、形などの基礎を理解し、身に付けることができる。 ・指示に応じたり、要求、依頼、報告などを相手に伝えたりすることができる。 ・一定時間集中して、自分の課題に積極的に取り組むことができる。			
担当教員		久木崎 未希			
予定授業時数		105/256			
使用教科書		東京書籍 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	よく見て手や指を使おう いろいろな言葉や文字、数を知ろう 自分から伝えよう 本を読もう	○	・手指の操作に関わる活動「紐通し」「色塗り」など ・認知に関わる活動「弁別」「マッチング」など ・概念に関わる学習「大小」「多少」「時間」など ・言葉につながる課題「物の名称」「要求・依頼・報告」 ・文字につながる課題「運筆、視写」「書字」(平仮名・片仮名・名前の漢字)など ・数につながる課題「一対一対応」「数の合成」「足し算・引き算」など ・図書室で本を読む	・指先を使い物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・具体物を使い、大きさや量を比べることができる。形を見分けることができる。 ・カードなどを用いたり、言葉を使ったりして、教員に要求や依頼、終了を伝えることができる。 ・筆記具の持ち方を知り、目と手を協応させて、線や文字を書くことができる。 ・具体物を対応させて置くことができる。 ・具体物を使い、数の合成をすることができる。 ・図書室で静かに本を読むことができる。	・児童の興味・関心に応じた教材・教具を活用するようにする。
9 10 11 12	よく見て手や指を使おう 使える言葉や文字、数を増やそう よく聞いて答えよう 本を借りよう	○	・手指の操作に関わる活動「ピンセット」「はし・スプーン」「シール貼り」など ・認知に関わる活動「分類」「型はめ」など ・概念に関わる課題「重軽」「時間」など ・言葉につながる課題「やり取り」(動詞・助詞を使って)など「運筆、視写」「書字」(平仮名・片仮名・身近な漢字) ・数につながる課題「一対一対応」「順序」「数の合成・分解」「足し算・引き算」など ・図書室で本を借りる	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の形や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。 ・目と手を協応させて線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物を使い、順序や数の合成・分解ができる。 ・図書室で本の借り方を知る。	・フィニッシュボックスなどを活用し、児童が一人で取り組める環境を整える。 ・児童が主体的に、一人でやりきる力を育てられるように、やり方や手順などについて視覚化する。 ・筆記用具は、太さや長さ、濃さに配慮する。 ・楽しく落ち着いた雰囲気作りでやり取りできるようにする。 ・タブレット端末を活用し、個々に合った課題を用意する。 ・本を読むときのマナーを伝えていく。
1 2 3	考えて手や指を使おう 言葉や数、文字をたくさん使ってみよう よく考えて答えよう、伝えよう できることを増やそう 本を紹介しよう	○	・手指の操作に関わる活動「ねじ回し」「ボタン」「紐結び」など ・認知に関わる活動「分類」「パズル」など ・概念に関わる課題「高低・長短」「時間」など ・言葉につながる課題「助詞の使い方」など ・文字につながる課題「運筆、視写」「書字」(平仮名・片仮名・漢字)など ・数につながる課題「一対一対応」「足し算・引き算」など ・図書室の本を推薦する	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の名前や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で指示に応じたり、友達に伝えたりすることができる。 ・具体物を使い、物の測り方を知ることができる。 ・目と手を協応させ、線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物の操作と数式を対応させることができる。 ・図書室でお気に入りの本を選び、友達に紹介することができる。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		小学部		学 年	4年
教科等名		国語・算数(朝の学習)		グループ名	4組
ねらい		・日常生活に必要な手指の操作性を高め、語彙を増やし、文字、数や数量、形などの基礎を理解し、身に付けることができる。 ・指示に応じたり、要求、依頼、報告などを相手に伝えたりすることができる。 ・一定時間集中して、自分の課題に積極的に取り組むことができる。			
担当教員		○小林 幹太 松田 喜代美			
予定授業時数		105/256			
使用教科書		東京書籍 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	よく見て手や指を使おう いろいろな言葉や文字、数を知ろう 自分から伝えよう 本を読もう	○	・手指の操作に関わる活動「紐通し」「色塗り」など ・認知に関わる活動「弁別」「マッチング」など ・概念に関わる学習「大小」「多少」「時間」など ・言葉につながる課題「物の名称」「要求・依頼・報告」 ・文字につながる課題「運筆、視写」「書字」(平仮名・片仮名・名前の漢字)など ・数につながる課題「一対一対応」「数の合成」「足し算・引き算」など ・図書室で本を読む	・指先を使い物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・具体物を使い、大きさや量を比べることができる。形を見分けることができる。 ・カードなどを用いたり、言葉を使ったりして、教員に要求や依頼、終了を伝えることができる。 ・筆記具の持ち方を知り、目と手を協応させて、線や文字を書くことができる。 ・具体物を対応させて置くことができる。 ・具体物を使い、数の合成をすることができる。 ・図書室で静かに本を読むことができる。	・児童の興味・関心に応じた教材・教具を活用するようにする。
9 10 11 12	よく見て手や指を使おう 使える言葉や文字、数を増やそう よく聞いて答えよう 本を借りよう	○	・手指の操作に関わる活動「ピンセット」「はし・スプーン」「シール貼り」など ・認知に関わる活動「分類」「型はめ」など ・概念に関わる課題「重軽」「時間」など ・言葉につながる課題「やり取り」(動詞・助詞を使つて)など「運筆、視写」「書字」(平仮名・片仮名・身近な漢字) ・数につながる課題「一対一対応」「順序」「数の合成・分解」「足し算・引き算」など ・図書室で本を借りる	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の形や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。 ・目と手を協応させて線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物を使い、順序や数の合成・分解ができる。 ・図書室で本の借り方を知る。	・フィニッシュボックスなどを活用し、児童が一人で取り組める環境を整える。 ・児童が主体的に、一人でやりきる力を育てられるように、やり方や手順などについて視覚化する。 ・筆記用具は、太さや長さ、濃さに配慮する。 ・楽しく落ち着いた雰囲気を作り取りできるようにする。 ・タブレット端末を活用し、個々に合った課題を用意する。 ・本を読むときのマナーを伝えていく。
1 2 3	考えて手や指を使おう 言葉や数、文字をたくさん使ってみよう よく考えて答えよう、伝えよう できることを増やそう 本を紹介しよう	○	・手指の操作に関わる活動「ねじ回し」「ボタン」「紐結び」など ・認知に関わる活動「分類」「パズル」など ・概念に関わる課題「高低・長短」「時間」など ・言葉につながる課題「助詞の使い方」など ・文字につながる課題「運筆、視写」「書字」(平仮名・片仮名・漢字)など ・数につながる課題「一対一対応」「足し算・引き算」など ・図書室の本を推薦する	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の名前や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で指示に応じたり、友達に伝えたりすることができる。 ・具体物を使い、物の測り方を知ることができる。 ・目と手を協応させ、線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物の操作と数式を対応させることができる。 ・図書室でお気に入りの本を選び、友達に紹介することができる。	・本を読むときのマナーを伝えていく。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

学 部	小学部		学 年	4年	
教科等名	国語・算数(朝の学習)		グループ名	5組	
ねらい	・日常生活に必要な手指の操作性を高め、語彙を増やし、文字、数や数量、形などの基礎を理解し、身に付けることができる。 ・指示に応じたり、要求、依頼、報告などを相手に伝えたりすることができる。 ・一定時間集中して、自分の課題に積極的に取り組むことができる。				
担当教員	立山 史織				
予定授業時数	105/256				
使用教科書	東京書籍 こくご☆☆ 教育出版 さんすう☆☆(1)(2)				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	よく見て手や指を使おう いろいろな言葉や文字、数を知ろう 自分から伝えよう 本を読もう	○	・手指の操作に関わる活動「紐通し」「色塗り」など ・認知に関わる活動「弁別」「マッチング」など ・概念に関わる学習「大小」「多少」「時間」など ・言葉につながる課題「物の名称」「要求・依頼・報告」 ・文字につながる課題「運筆、視写」「書字」(平仮名・片仮名・名前の漢字)など ・数につながる課題「一対一対応」「数の合成」「足し算・引き算」など ・図書室で本を読む	・指先を使い物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・具体物を使い、大きさや量を比べることができる。形を見分けることができる。 ・カードなどを用いたり、言葉を使ったりして、教員に要求や依頼、終了を伝えることができる。 ・筆記具の持ち方を知り、目と手を協応させて、線や文字を書くことができる。 ・具体物を対応させて置くことができる。 ・具体物を使い、数の合成をすることができる。 ・図書室で静かに本を読むことができる。	・児童の興味・関心に応じた教材・教具を活用するようにする。 ・フィニッシュボックスなどを活用し、児童が一人で取り組める環境を整える。 ・児童が主体的に、一人でやりきる力を育てられるように、やり方や手順などについて視覚化する。 ・筆記用具は、太さや長さ、濃さに配慮する。 ・楽しく落ち着いた雰囲気作りを取りできるようにする。 ・タブレット端末を活用し、個々に合った課題を用意する。 ・本を読むときのマナーを伝えていく。
9 10 11 12	よく見て手や指を使おう 使える言葉や文字、数を増やそう よく聞いて答えよう 本を借りよう	○	・手指の操作に関わる活動「ピンセット」「はし・スプーン」「シール貼り」など ・認知に関わる活動「分類」「型はめ」など ・概念に関わる課題「重軽」「時間」など ・言葉につながる課題「やり取り」(動詞・助詞を使って)など「運筆、視写」「書字」(平仮名・片仮名・身近な漢字) ・数につながる課題「一対一対応」「順序」「数の合成・分解」「足し算・引き算」など ・図書室で本を借りる	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の形や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で、指示に応じたり、相手に伝えたりすることができる。 ・目と手を協応させて線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物を使い、順序や数の合成・分解ができる。 ・図書室で本の借り方を知る。	
1 2 3	考えて手や指を使おう 言葉や数、文字をたくさん使ってみよう よく考えて答えよう、伝えよう できることを増やそう 本を紹介しよう	○	・手指の操作に関わる活動「ねじ回し」「ボタン」「紐結び」など ・認知に関わる活動「分類」「パズル」など ・概念に関わる課題「高低・長短」「時間」など ・言葉につながる課題「助詞の使い方」など ・文字につながる課題「運筆、視写」「書字」(平仮名・片仮名・漢字)など ・数につながる課題「一対一対応」「足し算・引き算」など ・図書室の本を推薦する	・指先を使って物を操作することができる。 ・目と手を協応させ、書字につながる動きができる。 ・物の名前や属性について知ることができる。 ・教員とのやり取りの中で指示に応じたり、友達に伝えたりすることができる。 ・具体物を使い、物の測り方を知ることができる。 ・目と手を協応させ、線や記号、文字を書くことができる。 ・具体物の操作と数式を対応させることができる。 ・図書室でお気に入りの本を選び、友達に紹介することができる。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。